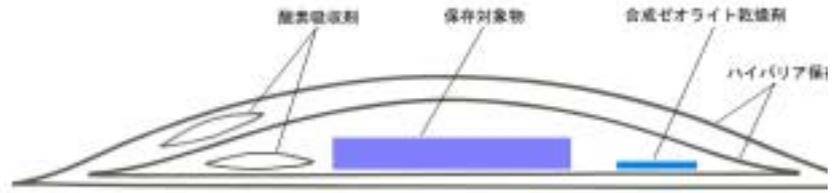


# ISO無酸素・乾燥保存システム A - 25AZS



酸素および水分などに対するガス遮断性に優れたハイバリア専用保存袋とハイスピード型酸素吸収剤A - 750HSおよび合成ゼオライト板状強力乾燥剤により構成される無酸素・乾燥保存システムです。

保存袋を2重に用いることで、内側包装内の酸素吸収剤の劣化による酸素の混入を防止し、精度の高い無酸素、乾燥雰囲気を長期間維持できます。  
(酸素濃度、湿度ともほぼゼロに達します。およそ15時間で酸素濃度ゼロ、48時間で湿度ゼロに達します)

精密部品、電子部品、各種金属材料、薬剤などの無酸素・乾燥保存に最適です。

## 特徴

- ・酸素吸収剤と合成ゼオライト乾燥剤により、無酸素 + 乾燥雰囲気が容易に作り出せます。  
(酸素および水分透過度が極めて低い専用保存袋を2重に用いることで、精度の高い無酸素、乾燥雰囲気を長期間維持できます。)
- ・酸素インジケータが付属しているので、酸素の有無は一目瞭然です。
- ・AZ - 10G合成ゼオライト乾燥剤は、腐食性ガスH<sub>2</sub>S、SO<sub>2</sub>なども吸着します。
- ・各薬剤は、アルミラミネート袋に個別包装されています。
- ・初期空気量: 500ml未満
- ・本セットは、ヒートシール機を使用することで、より簡便に作業が行えます。

## 商品詳細

精密部品、電子部品などの酸化防止方法として、酸素吸収剤と乾燥剤を併用して、ガス遮断性に優れた包装材に保存する方法があります。しかし、酸素吸収剤と乾燥剤を併用すると、乾燥剤により酸素吸収剤の水分が失われ、酸素吸収能力がなくなるため、保存用袋のフィルム表面からわずかに透過する酸素を処理できず、酸素が混入していました。混入する酸素を遮断するため、保存用袋として、酸素透過度がほぼゼロのアルミ袋などが必要でした。

この無酸素・乾燥保存システムA - 25AZSは、酸素透過度、水分透過度が極めて低い専用保存袋を2重に用いることで、酸素の混入を防ぎ、精度の高い無酸素・乾燥雰囲気を容易に作り出せます。専用保存袋も透明なので、内容物を観察することも可能です。また、保存対象物を保存した内側保存袋と外側保存袋の間に配した酸素吸収剤を交換することで長期間無酸素・乾燥雰囲気を維持できます。

(厳密な無酸素雰囲気が必要ない場合、長期間の保存が必要ない場合には、二重包装にする必要はありません。)

## 無酸素・乾燥保存システムA - 25AZS(25包装分)セット内容

・A - 750HS 酸素吸収剤(酸素インジケータ付き)	50個	単品リスト
・AZ - 10G 合成ゼオライト板状強力乾燥剤	25個	
・AP - 1522 ハイバリア専用保存袋(15×22cm)	25枚	
・AP - 1826 ハイバリア専用保存袋(18×26cm)	25枚	
・CL - 15 密封クリップ(15cm)	2本	
・CL - 21 密封クリップ(21cm)	2本	

- \* 各薬剤はアルミ袋に個別包装にされています。
- \* 本セットは、ヒートシール機を使用することで、より簡便に作業が行えます。
- \* 各薬剤、ハイバリア専用保存袋など各構成パーツは、個別にご購入できます。

## 使用方法

1. 専用保存袋AP - 1522に保存対象物を入れます。
2. 酸素吸収剤、酸素インジケータおよびゼオライト乾燥剤をアルミ袋の封を切り、取り出し、保存対象物が入った専用保存袋AP - 1522に入れます。  
(酸素吸収剤とゼオライト乾燥剤は、重ならないよう配置して下さい)
3. 専用保存袋AP - 1522を密封クリップCL - 15またはヒートシール機で封をします。
4. 新たに酸素吸収剤、酸素インジケータを用意し、前記専用保存袋AP - 1522と共に、

専用保存袋AP - 1826に入れ、密封クリップCL - 21またはヒートシール機で封をします。

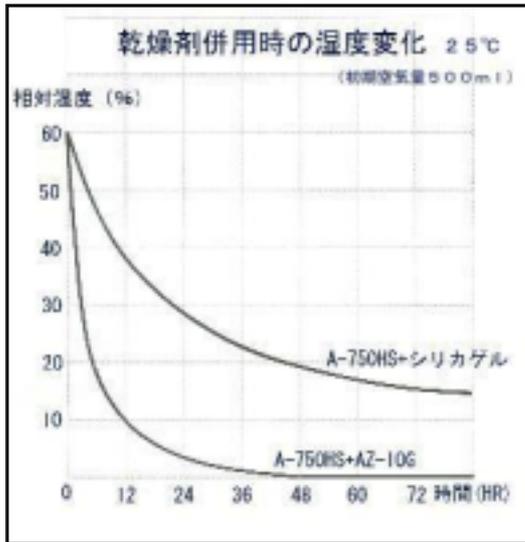
#### 使用上の注意など

- ・各保存操作は、短時間で行って下さい。
- ・各薬剤を保存対象物に接触させたくないときは、シャーレのような通気性のある容器、袋(密封しない)に対象物を入れて下さい。
- ・酸素吸収剤、ゼオライト乾燥剤の通気面をふさがないように配置して下さい。
- ・密封クリップまたはヒートシール機で封をするとき、シール部分がシワにならないように注意して下さい。  
また、密封クリップの角などで保存袋を傷つけないよう注意して下さい。
- ・直射日光、蛍光灯下を避け、暗所に保管して下さい。酸素インジケータが変色しなくなったり、色が薄くなる場合があります。
- ・専用保存袋AP - 1522とAP - 1826の間に入れた酸素吸収剤が劣化したら、(酸素インジケータが赤紫、または青紫色に変色)AP - 1826(外側)を開封して、酸素吸収剤を交換して下さい。

#### 酸素インジケータの色変化

酸素濃度0.5%以上の時	青紫
0.1~0.5%の時	赤紫
0.1%以下の時	ピンク

酸素吸収剤(A - 750HS)と乾燥剤との併用時における雰囲気中の湿度変化



\* シリカゲルはA型10g。

\* AZ-10G:合成ゼオライト板状強力乾燥剤10g

**ISO 無酸素 乾燥保存システム**  
**使用説明書**

無酸素 乾燥保存システムをお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この説明書をお読みにになり、正しくお使い下さい。

**システムの概要]**

酸素吸収剤と乾燥剤とを併用して無酸素 乾燥雰囲気を作ろうとすると、酸素吸収剤に含まれる水分が失われ、酸素吸収能力がなくなり、保存袋表面からわずかに混入する酸素を処理できなくなります。本システムは、ハイバリア専用保存袋を二重に使い、その間に酸素吸収剤を配置することで、外部からの酸素の混入を防ぎ、無酸素 乾燥雰囲気を維持します。

**[セット内容]**

酸素吸収剤 A- 750HS (インジケータ付)	50個	合成ゼオライト乾燥剤 AZ- 10G	25個
ハイバリア専用保存袋 AP- 1826	25枚	ハイバリア専用保存袋 AP- 1522	25枚
密封クリップ CL- 21	2組	密封クリップ CL- 15	2組

**[商品の包装形態]**

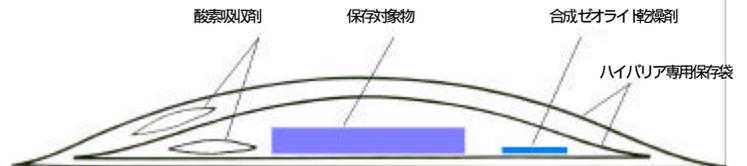
酸素吸収剤と酸素インジケータおよび合成ゼオライト乾燥剤はアルミ袋に包装されています。

酸素吸収剤は白色のガス透過性の袋 (粉末状の薬剤が入っています)、酸素インジケータは透明な有孔袋に入っていますので、どちらもそのままお使い下さい。

アルミ袋の封を切るとき、酸素吸収剤の袋を破かないように注意して下さい。

**[使用方法]**

1. 対象物をハイバリア専用保存袋 AP- 1522に入れます。
  2. アルミ袋の封を切り、酸素吸収剤 A- 750HSと酸素インジケータおよび合成ゼオライト乾燥剤 AZ- 10Gを同梱します。
  3. ヒートシール機または密封クリップで、ハイバリア専用保存袋 AP- 1522の封をします。
  4. ハイバリア専用保存袋 AP- 1826を用意し、酸素吸収剤 A- 750HSと酸素インジケータおよび対象物が入った前項ハイバリア専用保存袋 AP- 1522を入れ、ヒートシール機または密封クリップで封をします。(密封クリップの角で保存袋を傷つけないように注意して下さい。)
- 右図のように二重包装をします。



**[使用上の注意]**

本システムは、ヒートシール機を使用することでより簡単に包装作業が行えます。

密封クリップの角で保存袋を傷つけないように注意して下さい。

対象物に突起などがあり、保存袋を傷つける恐れがあるとき、各薬剤との接触を避ける必要があるときは、対象物をシャーレなど通気性のある容器または紙、ポリ袋 (封をしない) などで包んでから、専用保存袋に入れて下さい。

各薬剤はアルミ袋から取り出すとすぐに反応を始めます。作業は手早く行って下さい。

各薬剤の通気面 (両面) を保存袋のフィルムや対象物で塞がぬようにして下さい。

包装後は出来るだけ、暗所に保管して下さい。蛍光灯下などに長時間放置すると、酸素インジケータが変色しなくなります。

酸素インジケータは酸素濃度 0.5% 以上で青紫、0.1% 以下でピンク色に可逆的に変化します。

酸素インジケータの色変化 : 青紫色 (速い) 青紫色 (遅い)

(無酸素状態になってから、1~2時間後にピンク色になります)

適性初期空気量 500ml 以下 およそ 15時間 (25℃) で無酸素状態、48時間で湿度ゼロに達します。

**[商品構成]**

カタログNo.	商品名	形態または内容
A- 750- 100	酸素吸収剤 A- 750HS 100個	個別包装、インジケータ付き
AZ10G- 100	合成ゼオライト乾燥剤AZ- 10G 100個	個別包装、板状強力乾燥剤
AP- 1826- 300	ハイバリア専用保存袋 AP- 1826	18× 26 300枚 (シリカ蒸着ナイロン/ ポリエチレン)
AP- 1522- 300	ハイバリア専用保存袋 AP- 1522	15× 22 300枚 (シリカ蒸着ナイロン/ ポリエチレン)
CL- 21- 10	密封クリップCL- 21	21cm 凹凸 10組
CL- 15- 10	密封クリップCL- 15	15cm 凹凸 10組

密封クリップは、他のサイズの製作も可能です。

製造 販売元

有限会社 アイ . エス . オー

〒245-0003 横浜市泉区岡津町1500-307

TEL 045-813-3851 FAX 045-813-3853

<http://www.jade.dti.ne.jp/~iso/>